

事業所名		北部子ども療育センター わくわく教室				支援プログラム【児童発達支援】		作成日	令和6年	4月	1日
法人（事業所）理念		・「児童憲章」および「子どもの権利条約」に謳われている児童の基本的人権を擁護する ・「障害乳幼児対策大津方式（1975年）」の趣旨に基づき、その役割の一端である早期療育の場としての活動を展開する									
支援方針		・保護者との信頼関係を構築し子育てのパートナーとして共に育ち合う関係を作る ・児童にとって家庭が楽しく安心できる場となるよう、家庭基盤の安定をめざした支援を行い、家族とともに地域で生活できる基盤づくりの援助をする									
営業時間		10時	0分から	15時	15分まで	送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	○子ども一人一人の状況を把握し、家庭と連携をとりながら生活リズム（睡眠、食事、排泄など）を整え、健康に過ごせるようにします ○日々の生活の中で、子どもが期待や見通しを持ち、“○○したい”と気持ちを向けて過ごすことを大切にします									
	運動・感覚	○子どもに合わせた遊具を選び、興味が向きやすい工夫をすることで、体を使ったあそびを繰り返し楽しめるようにします ○子どもそれぞれの視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚などの感覚を十分に活用できるよう、あそびなどを通して支援します ○子ども一人一人の姿勢や体の使い方に合わせた椅子や補助具などについてPT・OT・STと連携しながら使用しやすい用具を整え、あそびや生活が楽しめるようにします									
	認知・行動	○子どもの興味が広がるよう、状況に合わせた環境を設定し、栽培やクッキング、散歩などの実体験を通して、音、匂い、感触など五感を使って感じる経験を重ねられるようにします ○子どもは自分でしたことに“こんなふうになった”とおもしろさを感じ、じっくりと遊べるように関わります									
	言語コミュニケーション	○安心できる人との関係の中で、やりとりする嬉しさや伝わる経験を重ね、人に伝えたい気持ちが膨らむように関わります ○視線や表情、しぐさ、指さし、声など一人一人の表出方法を丁寧に受けとめ、自分なりの表現の幅を広げられるようにします									
	人間関係社会性	○安心できるおとなとの信頼関係を基盤に、人と関わる嬉しさや心地よさを感じて、人への信頼感を育めるようにします ○小規模の集団の中で、人と関わることの嬉しさや共感して遊ぶ楽しさを感じ、友達と過ごす心地よさを感じられるようにします									
家族支援		○保護者の思いに寄り添い、安心して子育てができるように一緒に考えます ○きょうだいとの兼ね合いなど家族全体を含めた生活について、相談や支援を行います ○親子保育や学習会を通して、子ども理解を深められるようにし、クラス懇談会や先輩保護者との座談会など、保護者同士が交流する機会を設けます				移行支援		○就園・就学に向けての保護者学習会や進路の相談、引継ぎを行います ○就園・就学先への卒園児訪問や相談を必要に応じて行います			
地域支援・地域連携		○地域の幼稚園・保育園・認定こども園などと交流保育をします ○就園先や幼稚園・保育園・認定こども園などの職員に向けた学習会を開催します ○卒園児の保護者や支援制度を利用している保護者がいつでも気軽に相談できる場となり、幼稚園・保育園・認定こども園・地域とのつながりを支援します ○相談支援事業所と連携し、必要に応じて保健・医療・福祉・教育などの関係機関とも連携します				職員の質の向上		○発達理解、保護者支援などに必要な知識を習得することを目的に、職員研修（発達、PT、OT、ST、医療、BCP、虐待防止など）を行います ○複数名の職員で子どもの姿を把握し、発達の捉えや変容、支援に関して定期的に話し合い、支援の向上に向けて取り組みます ○他機関の研修に参加し、職員の意識を高めます			
主な行事等		・入園式（4月・随時）・父親参観（前期・後期 年2回）プール遊び 夏まつり 運動会 おたのしみ会 お別れ会 卒園式 園外保育									